

ブラジルの政策金利の引き下げについて

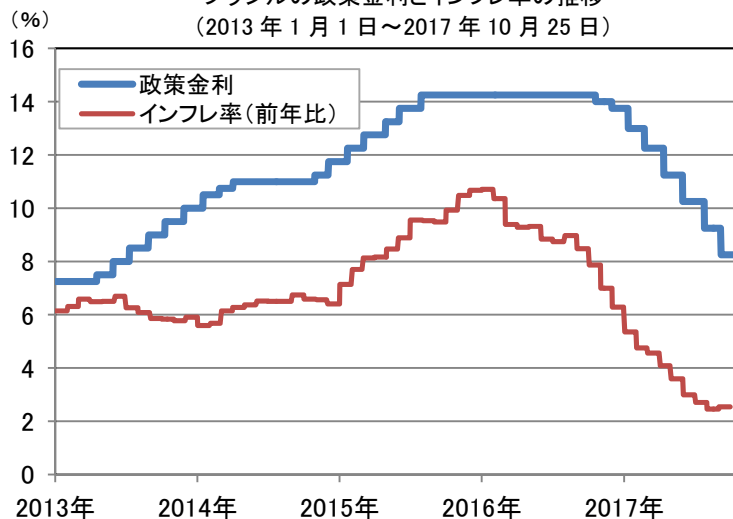
2017年10月25日(現地時間)、ブラジル中央銀行は、COPOM(金融政策委員会)において、Selic(政策金利)を0.75%引き下げ、年率7.50%とすることを決定しました。

前回9月の会合で利下げペースを緩やかに減速させることが示唆された通り、引き下げ幅は直近4回の1%から縮小され、市場の事前予想通りの結果となりました。昨年10月以降の金利引き下げ幅が合計6.75%に達するなか、ブラジル経済が堅調に回復傾向を示し、インフレ率も落ち着きつつあることなどが考慮されたもようです。

会合後の声明では、次回に関しても、引き続き金融緩和の縮小を念頭に置いていることが示されました。ブラジル中央銀行は、インフレ率が目標水準へ収束しつつ経済成長が順調に継続するシナリオを想定しながら、今後も段階的に緩和ペースの縮小を図っていくものと思われます。

このような中央銀行の金融政策が引き続き同国経済の回復基調をサポートする一方で、テメル大統領の汚職疑惑を巡る政治情勢や社会保障などの構造改革には依然不透明感があり、これらが景気や金融市場へ与える影響には今後も注視していく必要があると考えます。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2017年10月25日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年4月12日	11.25	-1.00
2017年5月31日	10.25	-1.00
2017年7月26日	9.25	-1.00
2017年9月6日	8.25	-1.00
2017年10月25日	7.50	-0.75

* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータより BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。